

## 目 次

I.	総会	
	1) 平成30年度定時総会	2
	2) 平成30年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事業	
	1) 理事会審議議題	6
	2) 会員定例会審議議題	9
	3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会 総務・経理合同部会、国際部会の開催	12
	4) 外国映画通関連絡協議会の開催	12
	5) 外画宣伝部長会の開催	12
III.	主な事業活動の報告	
	1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びに その公表等の広報活動に関する事業	12
	2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に 寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	13
	3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、 普及促進、保存及び特殊上映に関する事業	16
	4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び 最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の 開催に関する事業	18
	5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び 開催に関する事業	19
	6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護 に関する事業	21
	7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために 必要な事業	21
	別添各種資料	
	外画概況〈国別〉	22
	外画概況〈会社別〉	26
	作品目録	30

## 一般社団法人外国映画輸入配給協会事業報告

### I. 総会

#### 1) 平成30年度定時総会

平成30年度定時総会が以下の通り行われた。

開催日時： 平成30年6月8日 午後1時

開催場所： 東京建設会館 4階会議室

平成29年度事業報告、決算報告並びに平成30年度事業計画、収支予算は承認可決された。

理事の任期満了に伴い、理事井上伸一郎、理事山崎敏、理事依田巽、理事寺島ヨシキ、理事関輝明の5氏の選任が承認された。

理事長瀬文男の辞任に伴い、大林克己の理事就任が承認された。

理事星野智彦は任期満了により退任された。

#### 2) 平成30年度事業計画

平成30年度事業計画は以下の通り

一般社団法人外国映画輸入配給協会が平成30年4月1日より平成31年3月31日迄の間に行う予定の主要事業は下記の通りである。

当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下であり邦人系外国映画輸入配給業者を代表する国内唯一の公的機関として、本年も外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動にあたっていく。また、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を図り、映画産業全体の発展に寄与していく。

##### (1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

各年に配給公開された輸入外国映画の年別統計一覧資料を作成し、ウェブサイト（日本語・英語）上で広く公表を行っていく。

###### ① 年間外国映画統計資料

平成元年より各年に配給公開された輸入外国映画作品について『外画概況』（国別・会社別）を作成。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データ

を調査・集計し、当協会の公式ウェブサイト（日本語・英語）並びに各メディアを通じて公表。日本国内をはじめ海外からの要請並びに問い合わせにも対応し、広報活動に努める。また、外国映画の年間興行成績の調査に関しても配給会社各社から直接聞き取り調査を行い、年間興行収入トップテンに関しては公表し、メディア他の調査に協力する。

- (2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

年間を通じて輸入外国映画の振興及び発展に貢献したと厳正な審査により認められた団体、法人、人物に対して各賞を授与し、メディアを通して公表する。

優秀外国映画輸入配給賞：

この賞は、年間を通じて作品の質が高くなおかつ新分野を開拓し、映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰している。評論家及び各メディアから選ばれた審査員8名が厳正な選考の上、最優秀賞を初めとして各賞を授与する。

- (3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

広く国民を対象に輸入外国映画の持つ文化的・芸術的価値及び社会的価値について周知広報活動し、「さまざまな人に映画を届ける」を目標に特殊上映に関する活動を行う。

① トーキョーシネマショー

本協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業連合会とともに、外国映画振興のためのイベントを実施する。シンポジウム、トークショー、試写会を通じて劇場関係者及びマスコミに対して発信し、映画観客数の増加と日本の映画産業の発展に貢献することを目的とする。

② 「映画館に行こう！」実行委員会活動

本協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人映画製作者連盟及びモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画関係4団体が、映画館で映画を見てもらう機会を増やそうと、「映画館に行こう！」キャンペーンとしてこれまで「夫婦50割引」「高校生友情プライス」等の入場割引サービス等を行ってきた。同実行委員会としては、より多くのファンが映

画に触れる機会を増やすため、今年も新たなキャンペーンを実施する予定。さらに全国上映劇場の上映時間のデータベース化を促進しインターネット及びモバイル機器による上映時間検索システムを充実させていく他、YAHOO!との連携によりPCでの予告編サイトを拡充し、観客の利便性を向上させている。映画人口を2億人に到達させるための新企画「映画ギフト」の実現に向け、外画宣伝部長会の討議を通じて今後も実行段階での協力を行っていく。

### ③ 優秀外国映画の保存

国立映画アーカイブと協力し、会員各社が優秀外国映画を国民の文化財産として国立映画アーカイブに寄贈することを推進する。

### ④ 副音声付等特殊上映

「さまざまな人に映画を届ける」を目標に、視覚・聴覚に障害のある方々、あるいは高齢者の方々に配慮した環境の中で映画作品を上映する機会を設ける活動を続ける他、シンポジウム等を通じて必要性を訴える催しを後援していく。

## (4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

アメリカをはじめとする諸外国並びに国内の最新映画情報及び映像技術革新に対する研修会等を通じて、映画関係者のみならず広く一般の方々と情報共有を図り、国内の映画産業に資する事業を行う。

### ① 映画産業交流会

年1回モーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作関係者の参加により、外国映画輸入配給事業の健全な発達及び、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として開催する。

### ② 映画技術革新セミナー

近年の映像デジタル化による技術革新情報の最新情報を共有すべくセミナーの開催、技術研究会などに協力していく。

### ③ 外国映画通関連絡協議会研修会

当協会に事務局を置き、輸入通関業務及び映画技術の研究を行っている「外国映画通関連絡協議会」は毎年最新映像技術に関する研修会を開催しており、本年もこの研修会を通して映画関係者のみならず広く一般の方々に最

新の映画・映像技術の情報を提供する。

#### ④ 外画宣伝部長会

当協会に事務局を置き、当協会会員、映画製作者連盟加盟社及びモーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝について直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑かつ健全に行われるよう会議を開催している他、YAHOO! 予告編サイトの充実、マスコミ取材の調整、システムの維持・保全に加え、シネマショー、優秀外国映画輸入配給賞、「映画館に行こう！」実行委員会のキャンペーンなどのイベントを共同で行っていく。また、本年度から企画がスタートした「映画ギフト」の実現に向け宣伝・告知に協力していく。

#### (5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への後援、開催への協力を行う。

##### ① 各種映画祭

これまで東京国際映画祭、大阪ヨーロッパ映画祭、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、あいち国際女性映画祭、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各種映画祭に対する後援及び実行協力を行っている。また、「映画の日」など映画各団体が実行する催事に対する協力を行う。さらに輸入外国映画を広く我が国の国民に紹介すべく、EUフィルムフェスティバル、フランス映画祭等海外の映画紹介への協力を行う。

#### (6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

映画界のデジタル化に伴う様々な問題と劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策を講じる。

##### ① 映画盗撮防止対策

本年も映画館での映画盗撮による著作権侵害が映画文化、芸術に対して被害を及ぼしていることに鑑み、映画盗撮防止に対する法律（平成19年法律第65号）第三条に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議する他、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に行っている「NO MORE映画泥棒」キャンペーンと連携を取り映画盗撮防止対策を拡充推進していく。

- ② 会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取りとその対策、会員各社からの問題提起に沿い、協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等への相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い、問題解決に努める。

(7) 前各号に掲げるものの他、この法人の目的を達成するために必要な事業

## II. 理事会、会員定例会、部会、事業

### 1) 理事会審議議題

#### ○第66回理事会 (4月20日開催)

<審議・承認事項>

第65回(3月)理事会議事録承認の件

3月収支月次報告の件

後援名義申請の件

・MPTE AWARDS 2018 第71回表彰式

・映画感想文コンクール2018

平成29年度決算の件

平成30年度事業計画の件

平成30年度予算の件

任期満了理事・監事の件

JASRAC協議の件

<報告事項>

その他 午前十時の映画祭9チラシ配布

#### ○第67回理事会 (6月8日開催)

<審議・承認事項>

第66回(4月)理事会議事録承認の件

4月、5月収支月次報告の件

後援名義申請の件

・あいち国際女性映画祭2018

・Japan Content Showcase 2018

平成30年度理事選任の件

役員選任の件

JASRAC協議の件

<報告事項>

トーキョーシネマショー2018の件  
その他

○第68回臨時理事会（6月26日開催）

<審議・承認事項>

第19回JASRAC協議報告の件  
第20回JASRAC協議報告の件  
JASRACへの対応検討の件  
その他

○第69回理事会（7月20日開催）

<審議承認事項>

第67回理事会議事録承認の件  
第68回臨時理事会議事録承認の件  
6月収支月次報告の件  
後援名義申請の件  
・第31回東京国際映画祭  
賛助会員新規入会の件  
JASRAC協議の件  
<報告事項>  
トーキョーシネマショー2018の件  
その他

○第70回臨時理事会（8月23日開催）

賛助会員新規入会の件  
後援名義申請の件  
・山形国際ムービーフェスティバル2018  
・全米放送事業者協会(NAB)会長特別講演  
第22回及び第23回JASRAC協議報告及び対応検討の件  
その他

○第71回理事会（9月21日開催）

<審議・承認事項>

第69回（7月）理事会議事録承認の件  
第70回（8月）臨時理事会議事録承認の件  
7月、8月収支月次報告の件  
後援名義申請の件

・第10回京都ヒストリカ国際映画祭  
JASRAC協議の件  
＜報告事項＞  
トーキョーシネマショー2018の件  
第57回優秀外国映画輸入配給賞の件  
その他

○第72回理事会（10月19日開催）

＜審議・承認事項＞

第71回（9月）理事会議事録承認の件  
9月月次収支報告の件  
協会文献・資料閲覧・借用の件  
JASRAC協議の件

＜報告事項＞

トーキョーシネマショー2018及び出張洋画講座 in 名古屋 終了報告の件  
2019年「年頭名刺交換会」の件  
その他

○第73回理事会（11月16日開催）

＜審議・承認事項＞

第72回（10月）理事会議事録承認の件  
10月収支月次報告の件  
後援名義申請の件  
・午前十時の映画祭10-FINAL  
JASRAC協議の件

＜報告事項＞

平成31年年頭名刺交換会の件  
その他

○第74回理事会（平成31年1月18日開催）

＜審議・承認事項＞

第73回（11月）理事会議事録承認の件  
11月、12月収支月次報告の件  
後援名義申請の件  
・第14回大阪アジア映画祭

＜報告事項＞

平成30年年頭名刺交換会終了報告の件  
JASRAC協議報告の件

その他

○第75回理事会（平成31年2月22日開催）

<審議・承認事項>

第74回（1月）理事会議事録承認の件

1月収支月次報告の件

<報告事項>

第57回優秀外国映画輸入配給賞の件

JASRAC問題経過報告の件

その他

○第76回理事会（平成31年3月15日開催）

<審議・承認事項>

第75回（2月）理事会議事録承認の件

2月収支月次報告の件

平成30年度仮決算の件

2019年度事業計画案の件

JASRAC問題の件

後援名義申請の件

・SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2019

・第11回沖縄国際映画祭

<報告事項>

イタリア文化財・文化活動省担当者との面談報告の件

第57回優秀外国映画輸入配給賞審査結果報告の件

その他

2) 会員定例会審議議題

○4月会員定例会（4月20日開催）

3月会員定例会議事録承認の件

3月事業報告承認の件

平成29年度決算の件

平成30年度事業計画の件

平成30年収支予算書の件

後援名義使用許諾報告の件

・MPTE AWARDS 2018 第71回表彰式

・映画感想文コンクール2018

その他

- ・第56回優秀外国映画輸入配給賞パンフレット
- ・午前十時の映画祭9チラシ

○6月会員定例会（6月8日開催）

- 4月会員定例会議事録承認の件
- 4月、5月事業報告承認の件
- トーキョーシネマショー2018（案）の件
- 後援名義使用許諾報告の件
- ・あいち国際女性映画祭2018
- ・Japan Content Showcase2018
- その他

○7月会員定例会（7月20日開催）

- 6月会員定例会議事録承認の件
- 6月事業報告承認の件
- トーキョーシネマショー2018の件
- 後援名義使用許諾報告の件
- ・第31回東京国際映画祭
- その他

○9月会員定例会（9月21日開催）

◆Japan Content Showcase2018について

公益財団法人ユニジャパン事務局次長兼

Japan Content Showcase ディレクター 高木文郎 氏

◆第31回東京国際映画祭の概要について

公益財団法人ユニジャパン事務局長兼

東京国際映画祭 事務局長 都島信成 氏

- 7月会員定例会議事録承認の件
- 7月、8月事業報告承認の件
- トーキョーシネマショー2018の件
- 第57回優秀外国映画輸入配給賞の件
- 後援名義使用許諾報告の件
- ・第10回京都ヒストリカ国際映画祭
- その他

○10月会員定例会（10月19日開催）

- 9月会員定例会議事録承認の件
- 9月事業報告承認の件

トーキョーシネマショー2018終了報告の件  
その他

- 11月会員定例会（11月16日開催）
  - 第31回東京国際映画祭終了報告の件
  - 公益財団法人ユニジャパン事務局長兼  
東京国際映画祭 事務局長 都島信成氏
  - 10月会員定例会議事録承認の件
  - 10月事業報告承認の件
  - 平成31年年頭名刺交換会の件
  - 後援名義使用許諾報告の件
    - ・午前十時の映画祭10-FINAL
  - JASRAC問題現状報告の件
  - その他
  
- 1月会員定例会（平成31年1月18日開催）
  - 11月会員定例会議事録承認の件
  - 11月、12月事業報告承認の件
  - 平成31年年頭名刺交換会終了報の件
  - 平成30年外画概況の件
  - 後援名義使用許諾報告の件
    - ・第14回大阪アジア映画祭
  - その他（「第63回映画の日」パンフレット）
  
- 2月会員定例会（平成31年2月22日開催）
  - 1月会員定例会議事録承認の件
  - 1月事業報告承認の件
  - 第56回優秀外国映画輸入配給賞の件
  - その他
  
- 3月会員定例会（平成31年3月15日開催）
  - 2月会員定例会議事録承認の件
  - 2月事業報告承認の件
  - 平成30年度仮決算の件
  - 2019年度事業計画案の件
  - 第57回優秀外国映画輸入配給賞の件
  - 後援名義使用許諾報告の件
    - ・SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2019

・第11回沖縄国際映画祭

その他

- 3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、総務・経理合同部会の開催  
理事会の承認のもとに以下の部会に於いて、事業計画推進・協会運営のための一般会議が行われた。

○宣伝部会

4回（9月25日、11月26日、1月23日、3月28日）

○営業部会

5回（7月30日、10月3日、11月29日、1月30日、3月26日）  
年末懇親会（12月19日）

○製作＝渉外部会

4回（9月28日、11月29日、1月28日、3月25日）

○総務・経理合同部会

3回（9月28日、1月24日、3月22日）

- 4) 外国映画通関連絡協議会の開催

4回（4月10日、9月28日、11月29日、1月28日）  
年末懇親会（12月6日）

- 5) 外画宣伝部長会の開催

8回（4月3日、6月12日、7月25日、9月25日、11月26日、  
12月17日、1月23日、3月28日）  
年末懇親会（12月17日）

### Ⅲ. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

平成30年外国映画作品目録を平成31年1月に発行。平成30年外画概況―国別・会社別―を7月(上半期)と1月に発行。作品目録並びに外画概況は別添。なお、各種資料は完成後直ちに当協会ホームページに掲載し、関連団体、官公庁、関係会社、

マスコミとの連絡業務に使用されている。

2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第57回優秀外国映画輸入配給賞の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度（1962年）から通商産業省（現経済産業省）の後援を得て制定した「優秀外国映画輸入配給賞」も平成30年度で57回を迎えた。第57回同賞は平成30年4月1日から平成31年3月31日迄の1年間に作品の質が高く、なおかつ新分野を開拓し、日本映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰するため、8名（別項表示）の審査員により審査が行われ各賞が決定した。

概要は以下の通り

審査委員・運営委員合同会議は、10月4日（水）に開催され、第57回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施要項が承認された後、審査員が紹介され審査委員長は秋山登氏が引き続き就任し、8名の審査員により審査会を開催した。

審査員： 秋山登、内野小百美、大高宏雄、岡本耕治、佐伯知紀、三浦理高、村上光一、渡辺祥子（五十音順）

主 催： 一般社団法人外国映画輸入配給協会

後 援： 経済産業省

審査報告書

第1回審査会

第1回審査会は2月13日（水）午後12時より、日本映画製作者連盟会議室にて審査員7名出席のうえ開かれた。秋山審査委員長から審査の基本方針について説明があり、外国映画輸入配給協会が作成した平成30年度「外国映画作品目録」を資料に、審査対象会社127社（当協会会員会社31社、MPA加盟会社4社、その他73社）を1社ずつ配給した全作品を検討し審議を行った結果、最終審査会には以下の15社が選ばれた。

○株式会社KADOKAWA

○株式会社キノフィルムズ

○ギャガ株式会社

○株式会社クロックワークス

○株式会社ツイン

○東宝東和株式会社

- 株式会社東北新社
- 株式会社博報堂DYミュージック&ピクチャーズ
- 株式会社パルコ
- 株式会社ファントム・フィルム
- 有限会社ロングライド
- 20世紀フォックス映画
- ワーナー ブラザース ジャパン合同会社
- 株式会社アップリンク
- 株式会社彩プロ

#### 第2回審査会（最終審査会）

2月13日に行われた第1回審査会に続いて最終審査会は3月6日（水）午後12時より如水会館会議室において開かれた。第1回審査会で選ばれた15社の平成30年4月から平成31年3月末日までに公開された作品リストをもとに、秋山委員長の他7名の審査員により各賞の推薦理由及びそれに対する徹底討議ののち、以下の審査結果に決定した。

#### <最優秀賞>

20世紀フォックス映画

「ボヘミアン・ラブソディ」

「バトル・オブ・ザ・セクシーズ」

「女王陛下のお気に入り」

本年度アカデミー賞4部門を獲得した「ボヘミアン・ラブソディ」は、伝説のバンド‘クイーン’を描いて昨年11月9日に公開されて以来、127億円を超える興行収入を上げ現在も上映が続いています。No.1ヒットであるばかりでなく、数十回も映画館に通うリピーターが続出するなど社会現象にまで押し上げた20世紀フォックス映画の力は特筆すべきものでした。1年間の洋画の中では、質的にも評価が高く興行的にも際立った成績を残している「ボヘミアン・ラブソディ」に加え、男女の性差を超えた真の平等のために戦った実在のテニスプレイヤー、ビリー・ジーン・キングを描いた「バトル・オブ・ザ・セクシーズ」やアカデミー賞主演女優賞を獲得した「女王陛下のお気に入り」など独創的でユニークな作品を配給し続け、世代を超えた洋画ファンに大いにアピールした功績により受賞が決まりました。

#### <優秀賞>

ギャガ株式会社

「グリーンブック」

「スターリンの葬送狂騒曲」

「華氏119」

「ボルグ／マッケンロー 氷の男と炎の男」

独裁者スターリンの予期せぬ死によって起こる権力闘争を描き、シニカルな笑いの中、時折背筋を冷たいものが走るブラックコメディの異色作「スターリンの葬送狂騒曲」。1980年のウィンブルドンを熱狂と興奮の渦に巻き込んだ伝説のテニスプレイヤー、ボルグとマッケンローの知られざる人間性と内面にまで切り込んだ佳作「ボルグ／マッケンロー 氷の男と炎の男」。そして、またしても突撃取材をトランプ大統領に敢行し、その人となりをあぶり出してみせたマイケル・ムーアの「華氏119」。何よりも本年度の収穫であったアカデミー賞作品賞受賞の「グリーンブック」は差別の残る南部を舞台にしたロードムービーで、人種を超えた男同士の友情と家族愛を描き、清々しい感動を与えてくれました。様々な秀作を数多く配給してきたことに加え、「グリーンブック」を買い付け、16億円を超える興行収入（3月末時点）を上げたことが大いに評価され受賞につながりました。

#### <奨励賞>

株式会社ツイン

「1987、ある闘いの真実」

「LBJ ケネディの意志を継いだ男」

「記者たち～衝撃と畏怖の真実～」

約30年前の韓国での民主化闘争を描いたドラマで、発端となった一人の大学生の死の裏側に隠された真実に立ち上がった普通の人々が歴史を変えた「1987、ある闘いの真実」は、事実を積み重ねるように描き映画ならではの感動をもたらしました。ロブ・ライナー監督作品「LBJ ケネディの意志を継いだ男」は、ジョン・F・ケネディに敗れて副大統領になり、ケネディ暗殺という悲劇により大統領となったリンドン・ジョンソンが亡きケネディのビジョンを実現する知られざる姿が心に残る作品でした。同じくロブ・ライナー監督の「記者たち～衝撃と畏怖の真実～」は、2003年のアメリカのイラク侵攻の大義の嘘に立ち向かったただ一つの新聞社の記者たちの実話。記者魂と信念で四面楚歌の状況から真実を見つけ出す展開は、民主主義国家におけるマスコミの何たるかを表すと共に上質なポリティカル・サスペンスでした。近年アジア映画を中心に公開本数を増やしていく中、様々な国の骨太な社会派作品を映画ファンに届けたことに審査員の評価が集まりました。

#### <奨励賞>

有限会社ロングライド

「女と男の観覧車」

「判決、ふたつの希望」

「ビール・ストリートの恋人たち」

第2次世界大戦から5年後のコニーアイランドを舞台に、ウディ・アレンの脚本と演出ですれ違う男女の機微を描いた「女と男の観覧車」。中東レバノンでの小さな諍いから始まった裁判を通して、政治や人種の対立が個人を飲み込んでしまう怖さと対立を超えた一筋の光を見せてくれた「判決、ふたつの希望」。そして、長く公民権運動の中心であったジェームス・ボールドウィンの原作を「ムーンライト」に続き、バリー・ジェンキンスの脚本と演出により映画化された「ビール・ストリートの恋人たち」は

若い黒人男女の純粋な愛を通して70年代人種差別最中のアメリカの姿を描いてみせました。本年度は、アメリカの作家たちの優れた作品と共に、世界に広く目配りをしながら確かな選定眼で個性的な秀作をレバノンから映画ファンに届けてくれた配給姿勢に賞賛が集まりました。

授賞式は平成31年4月17日にイイノホールにて開催された。

## 2. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会（映団連）の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会（9回）に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体事務局長連絡会議に出席、映団連の会員として当協会の基盤の安定に努めた。映団連主催の第63回「映画の日」運営に協力した。

第63回「映画の日」永年勤続功労章受賞者（当協会推薦者）は以下の通り。

氏名	会社名	役職名
菅野 陽介	(株)マンハッタンピープル	代表取締役社長
浮島 敏之	(株)ムビチケ	顧問

## 3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

### 1. 「トーキョーシネマショー」の開催

23回目を迎えた「トーキョーシネマショー」は「トーキョーシネマショー2018」として以下の通り開催された。

会場：イイノホール

会期：9月20日（木）

主催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

共催：モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）

一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会

後援：経済産業省

公益財団法人ユニジャパン

NPO法人映像産業振興機構

### プログラム

○配給各社渾身のこの1本！＜新作映像連続上映＞（MCによる紹介）

各配給会社の秋以降公開の話題作の予告編・特典映像を上映

フリーアナウンサー 奈良禎子氏の作品紹介による進行

○「町山智浩のトークライブ3」

最新アメリカ映画レポート&トロント映画祭りレポート

アメリカ、カリフォルニア州バークレー在住の映画評論家町山智浩氏による、最新のアメリカの映画事情や話題の新作映画、及び本年度トロント映画祭での注目作等のご紹介

○懇親会

「渾身のこの1本！<新作映像連続上映「町山智浩のトークライブ3」終了後、興行、配給関係者及びマスコミ関係者との懇親会が行われた。

\*参加者全員に「ラインアップ・パンフレット」を配布

2. 「トーキョーシネマショーin名古屋ミッドランド」

本年、初めて開催した「トーキョーシネマショー」の名古屋版であり、東京地区に偏りのある外国映画の観客数増加を目指したもので、以下のプログラムで実施した。

会場：ミッドランドスクエアシネマ2

会期：9月26日（水）

主催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

協力：ミッドランドスクエアシネマ事業共同体

プログラム

○ここが初出し！最新予告編連続上映（MCによる作品解説）

外配協加盟社及びMPA加盟の配給会社から提供された未公開の予告編6本の連続上映を行った。

○町山智浩のトークライブ in 名古屋ミッドランド

この秋以降日本で公開される最新作の中から、映画評論家町山智浩氏が厳選した話題作・秀作を、映像を交えながら15作品連続で紹介された。中京地区のマスコミ関係者（TV・新聞・雑誌・その他メディア）の方と同地区の興行関係者に参加頂き盛況の中で行われた。終了後活発な質疑応答も行われた。

※当日の参加者全員に「トーキョーシネマショー2018」のラインアップ・パンフレットを配布した。

3. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資する事を目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の映画

業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう！」実行委員会の平成30年度事業に積極的に参加した。

<主な活動内容>

- ① 映画館での盗撮防止への継続的活動
- ② 上映時間データベース及び YAHOO! 予告編サイトの継続により観客の利便性の拡充を図った。
- ③ 映画人口2億人を目指して組織し様々な事業に取り組んできたが、現状の進め方を再確認し、組織の変革や人員構成等も見直す時期に来ているとの認識もあり、委員長の交代と企画推進委員長（事務局長）の人選・決定が新たになされた。目標の映画人口2億人達成に向け新たな取り組みが始まっている。今後はいくつかの企画を分科会形式でテーマごとに担当委員を決め議論を詰めていく。

#### 4. 国立映画アーカイブへのフィルム寄贈

当協会会員会社から国立映画アーカイブに永久貸与された作品は0本であった。会員各社の作品契約の諸条件の中で、海外契約相手のプロデューサーからの賛同を得て日本（国立映画アーカイブ）にプリントを残す運動は、地道な活動ではあるが重要な仕事であると認識して各社が努力している。

#### 4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

##### 1. 年頭名刺交換会の開催

平成31年1月7日（月）にモーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の協力を得て、日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者815名が参加し、年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発展を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として「年頭名刺交換会」を開催した。

##### 2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業35社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため定例会合を開催した他、年間を通じて主に以下のような活動を行った。

###### ① 定例会合（年4回）

###### ② 研修会

###### (1) 夏季研修会

日時： 平成30年7月11日（水）14時より16時30分

場所： IMAGICA 第1試写室

議題： 「ドルビー・ビジョンとHDR」

第1部 ドルビーシネマの概要

講師：Dolby Japanシネマ&コンテンツソリューション部  
シニア・コンテンツ・リレーションズ・マネージャー  
林 正樹 氏

第2部 HDRで拓がる最新映像技術の可能性

講師：株式会社IMAGICAメディア事業本部  
清野 晶宏 氏

議題： 「国立映画アーカイブ誕生 その第1歩」

講師：独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ 学芸課長  
入江 良郎 氏

議題： 「バリアフリー音声ガイド制作の実践」

講師：CAP理事 川手美由紀 氏  
聞き手：外国映画通関連絡協議会理事長 鈴木 忍 氏

当日の参加者は90名であった。

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）加盟会社、映連加盟会社他、合計39社の宣伝部長で構成される宣伝部長会を開催し、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客数の増加に繋がる宣伝を各社が行える環境整備に努力した。また、「映画館に行こう！」実行委員会で立ち上げた上映時間データベースやYAHOO!予告編サイトの改良、改善に努め今後のキャンペーンに向けた情報収集等に協力している。本年度から改めてスタートする「映画館に行こう！」実行委員会への協力を中心に、映画観客数の増加に寄与すべく邦画・洋画の枠を超えた情報交換の場の提供や人的交流の促進を図るべく、外画宣伝部長会を通して積極的に活動することとなった。本年度は、「映画ギフト」企画の成功に向けて、7月のスタートを前にカードユーザーへの告知宣伝に協力し、より浸透を図るべく討議参加や実行部隊としても積極的に行っていく。

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。
2. 第31回東京国際映画祭運営に協力をし、上映作品のフィルム通関、翻訳、字幕製作に協力した。トーキョーシネマショーは第31回東京国際映画祭提携企画となった。

平成30年度 外配協後援各種映画祭

映 画 祭	会 期	会 場
午前十時の映画祭 9	平成30年4月13日(金)～ 平成31年3月28日(木)	全国58の映画劇場
島ぜんぶでおーきな祭 ～第10回沖縄国際映画祭～	平成30年 4月19日(木) ～ 4月22日(日)	宜野湾市(沖縄コンベン ションセンター)、那覇市、 沖縄市(コザ)他
SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭 2018	平成30年 7月13日(金) ～ 7月22日(日)	SKIPシティ 他
あいち国際女性映画祭 2018	平成30年 9月 5日(水) ～ 9月 9日(日)	ウィルあいち・ミッドラン ドスクエアシネマ 他
映画感想文コンクール 2018	平成30年 7月初旬 ～9月16日(募集)	キネマ旬報社主催 2019年2月10日表彰式
NAB ゴードン・H・スミス会長 来日特別記念講演	平成30年10月 3日(水)	早稲田大学大隈講堂
Japan Content Showcase 2018	平成30年10月22日(月) ～10月25日(木)	サンシャインシティ コンベンションセンター エクセルホテル東急(渋谷)
第31回 東京国際映画祭	平成30年10月25日(木) ～11月 3日(土)	六本木ヒルズ 他
第10回 京都歴史カ映画祭	平成30年10月27日(土) ～11月 4日(日)	京都文化博物館 他
第14回山形国際ムービー フェスティバル2018	平成30年11月 9日(金) ～11月11日(日)	MOVIE ON 山形
MPTE AWARDS 2018	平成30年10月30日(火)	六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリウム

<p>第14回 大阪アジア映画祭</p>	<p>平成30年 3月 8日(金) ～ 3月17日(日)</p>	<p>梅田ブルク7 ABCホール 他</p>
--------------------------	--------------------------------------	----------------------------

### 3. 各種映画賞運営に協力

第42回「日本アカデミー賞」(運営委員として)、第73回「毎日映画コンクール」の運営(諮問委員として)に協力した。東京映画記者会主催第61回「ブルーリボン賞」に後援者として協力した。

### 6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。この後当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション(MPA)、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう!」実行委員会を中心に全国の劇場における盗撮防止キャンペーンCM(カメラ男)を継続している。平成22年1月および23年1月からは著作権法の一部改正があり、ダウンロードに関しても厳しい対応となったことからCMのリニューアルを行い、キャンペーンを継続している。この他、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

### 2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。2011年以降一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)と全国興行生活衛生同業組合連合会の間で協議を重ねている「JASRAC協議」では、JASRACの管理楽曲の映画における上映使用料規程改定交渉が行われており、毎回オブザーバーとして参加し全興連と共同歩調を取って意見を述べてきた。今後とも公平な負担と現状の使用料維持を求めると共に、映画業界全体としてこの問題の解決に向かって各関連団体との協議を重ねていく。

### 7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上